



まはる

議会だより

令和5(2023)年2月15日【第170号】

興部中学校バドミントン部

- 第4回町議会定例会 29頁・129頁
- 町政こが聞きたい 39頁～119頁
- 第3回町議会臨時会 139頁
- 道内行政視察報告 149頁～169頁
- 総務社会常任委員会所管事務調査報告 179頁～189頁
- 議会の動き・議員活動報告 199頁
- 今回の表紙・編集後記 209頁

令和4年第4回 町議会定例会のあらまし

令和4年第4回定例会は、12月8日(木)開会され、町長の行政報告、議案12件が審議されました。

町長行政報告

新型コロナウイルス感染症に係るオミクロン株対応2価ワクチンの接種について

既に12月1日に配付しました広報チラシにて周知しておりますオミクロン株対応2価ワクチンの接種については、前回の接種から3ヶ月以上経過した12歳以上の方で、オミクロン株対応ワクチンの未接種者を対象に、12月21日から23日にかけて各日140名の接種を行う予定です。

接種予約については、12月12日(月)から開始します。対象者の町民皆様におかれましては、接種の検討をお願いします。



農作物の作況

本年の1番牧草は、5月までは好天に恵まれたこともあり、6月前半の低温と日照不足の影響は少なく、生育は順調でした。

また、サイレージ調製も6月後半にまとまった降雨があったものの、順調に進み、収穫量は平年並みとなりました。

2番牧草についても、気温が平年よりやや高く推移したため、生育は順調で収穫量も平年並でした。

飼料用トウモロコシについては、6月前半の気象により生育は若干停滞したものの、その後の好天により生育は順調に進み、子実の成熟、収量ともに平年並みとなりました。

なお、本年に調製されたそれぞれのサイレージの品質については、現在開封されたサイレージを順次調査しているところです。

生乳生産の状況 (11月末現在)

生乳生産量は、前年対比105・2%の6万5千745・8t、計画対比で99・1%となっています。



林業関係の状況

本年度予定していましたが造林地の下刈、秋里地区の植栽事業は全て完了し、秋里地区の皆伐事業についても、現在、事業に着手中です。



漁業生産の状況 (11月末現在)

全体の水揚げ量は、前年同期比600t減の2万1千181tとなり、前年同期比で3%の減となりました。

主なものとしては、サケ定置網漁業は11月30日で終漁し、前年同期比498t増の2千753tで、魚価の高騰により水揚額は前年をさらに更新する過去最高額となりました。

一方、ホタテ漁は11月26日に終漁し、漁獲量は前年対比で5%減の1万9千301t、計画対比では17%増となりました。

また、底建網漁業は、前年同期比32%増の466tの漁獲量となり、全体の水揚額としては史上最高額を記録しました。



町政ここが聞きたい!!

問 幼保連携型認定こども園整備について

小泉 優子 議員

答 幼稚園と保育所が一緒になった施設で幼児教育・子育てすることとなりました
裕 一寿 町長



小泉議員 幼保連携型認定

こども園整備計画ですが、事業予定を2年先送りして令和8年10月開園となりました。物価、燃料等値上がり資材の高騰、資材不足等があり理解しますが今後、価格高騰を5%アップで大丈夫でしょうか。

裕町長 老朽化している

「はまなす幼稚園」では100人以上の子ども達を預かっています。民間ではありませんが、改修費を町が応援し、改修した事もありま

延ばして建設したいと考えます。

小泉議員 整備建設の建物

の床面積の減少、厨房対応食の減少、エアコン設置等の限定、電気設備の使用見直し縮減などの説明がありました。施設は一度整備すると何十年間も運営しますし学童保育、子育て支援センターなどの機能も必要となります。今後の0歳児・1歳児の利用が多くなるのではないのでしょうか。

裕町長 施設のスペース

は確保すべきであり、十分幼稚園とも話し合っておりますし、町の財政的な問題で一部見直しをしています。給食施設も、3歳以下の子どもを受入れるには自賄でなければならず、大きな上振れにならないよう来年度設計したいと考えます。

小泉議員 私は数か所視察

しておりますが各施設の保育士さんのお話しで整理・整頓のための物置、物入、吊棚が必要であるとの声を

聞いております。町長のお考えは。

裕町長 議員指摘の部分

は決して減らさないと考えています。逆に子ども達が遊べるスペースも十分考慮し、用意しています。近くに山があり、子ども達が探索できる非常によい条件があります。遊具は徐々に増やしていくと学園とも話し合っています。

小泉議員 沙留保育所は大

変年数が経過しています。町直営で継続するのでしょうか。地域性からみても沙留保育所は必要だと思います。

裕町長 このことについ

て結論は出ていません。はまなす幼稚園を利用する方が増えています。保育ではなく幼児教育の希望が増えています。地元の皆様の考えを聞いた上で判断したいと考えます。町としては二か所置けるかどうか。大きな漁業の町であり、地元の理解を得て進めていきたいと考えます。

問

**興部町高齢者生活支援施設等
基本構想について** 小泉 優子 議員

答

**小規模多機能施設の横に
高齢者の住宅を整備したいと
考えています** 裕 一寿 町長

小泉議員

総務社会常任委員

会で興部町高齢者生活支援施設等基本構想の説明がありました。地域密着型サービスの充実、施設サービスの充実を掲げております。自宅での生活が立ち行かなくなった場合の受皿が必要であり、入所施設の形態、規模、建設場所が具体的にないと思います。

裕町長

多くの皆様から町で面倒見て欲しいとの声が多いことは確かです。

「きらり」は高齢者の入居施設でしたが要介護度2まで収容できるように方向転換し、現在に至っております。

町の介護従事者として、社協、ぬくまーる、わたぼうし、どこも担い手不足であり在宅生活する方の支援をするのが小規模多機能施設

小泉議員

小規模多機能事業

所をどこへ置く考えですか。

裕町長

まだ受皿が決ま

っておりませんが「きらり」を中心に考えざるを得ない。平成15年「きらり」が高齢者下宿になる予定でしたが、要介護度があっても入居できることとなりまして。高齢者下宿入居希望者もいますので、社協と協議を進めて行きたい。令和5年度には計画案を作

小泉議員

最近、在宅生活

に不安があり高齢者生活支援ハウスへ入居希望でしたが入居希望者多数で入居できず、西興部ケアハウスへ入所した人がいます。

高齢者が元気な内に町外へ移転となると人口減少につながると思います。町外施設入所者は10月現在で40名、西興部興楽園へは30名お世話になっていきます。他

遠方への入所者が増えていくように思いますが。

裕町長

西興部特別養護

老人ホームへの入所希望者

が多くあります。最近はずいぶん近くの施設へ入居する方が多くなっています。

ショートステイを近隣で受けづらくなっています。町の独居世帯が272世帯あります。介護で受けられるショートを作っていきたい。その事を視野に施設整備を考えたい。

小泉議員

高齢者が町外の

施設へ入所すると介護給付費も町外へ流出しています。令和3年度で1億5千700万円ほどとなっています。在宅サービス給付費は9千400万円ほどとなっています。町内に入所施設が整備されま

裕町長

介護保険会計か

ら町外へ出ていく事はもつたいないと思つたのですが、病院についても町外病院で手術を受けたりすると町の国保会計からお金が出ています。町として特養が一番と考えますが職員を病院並みに抱えることは無理です。社協とも話し合い、担い手を確保する方策を考えたい。

小泉議員

担い手不足は日

本などの職種でもありません。介護士のような専門職は町が高校卒業と同時に支援し養成しなくてはいけないのではないのでしょうか。

裕町長

介護職員を養成

するにしても置戸高校なども希望者が少なく来年から全国公募となります。高校を卒業後は、現実的には興部では難しいと思います。役場にすら就職してくれない状況です。

小泉議員

確かに難しいか

もしれませんが興部町の高齢者は、最後まで町内に居たいので入所できる施設を希望しています。高齢者の不安を安心に変えていきたいと思



福祉保健総合センター「きらり」

問 移住・定住促進事業について

竹内 清議員

答 まちづくり推進課、観光協会ともに 次のステップへ 裕 一寿町長



竹内議員 人口減少問題は

小さな自治体にとって普通のテーマです。若者のみならず高齢者の方まで町を離れていくケースがあり、どう立ち向かっていけばいいのかわからない状況にあります。近年産業振興や保健福祉、医療、教育や生活環境整備といった重点項目に、定住促進を加える町村が増えていきます。平成29年第4回定例会で人口減少問題移住促進対策と新たな視点の強化について質問し、社員住宅や宿舍への支援補

助の施策をお願いし令和2年4月には、興部町定住促進住宅建設支援条例、興部町雇用者住宅建設支援条例が施行されましたが5年が過ぎ改めて転入者増に向けての基本的に考えをお伺いします。

裕町長 人口を増やすこ

とは市町村の大きな課題です。その体制を整備するため機構改革を行い生活環境整備として医療、教育整備や民間住宅、公営住宅整備農業担い手の研修牧場や関連する住宅整備をし、現在総合計画の後期5か年計画の見直しを進め、まちづくり推進課を中心に移住定住の窓口とし検討していきま

竹内議員 平成29年第4回

定例会で移住や定住の促進



コテージしおさい (沙留)

には地域産業の担い手となる若い世代を呼び込む事が重要と考え、必要な仕事、住まいをはじめ医療、教育などの情報を収集し提供に努めなければならぬと発言しました。しかし、北海道移住支援の「北海道で暮らそう」の「あなたにぴつたりの町を探そう」で例えば、住宅購入補助制度はあるか、興部町定住促進住宅建設支援条例があります。特徴のある教育制度があるか、大学進学一時金として公営塾があります。満18歳まで医療費無料か、奨学金制度があるか、どれも当町で行われている施策なのはこのサイトには反映されていない。移住を考える多くの人が見て、だからこそ当

町も載せているのにせっかくの良い施策が全く広まっていない。新たな施策が出来ても更新されていない。サイトの更新はもちろん、当町の魅力をまとめた移住情報誌や町のHPに移住者支援についての紹介があるべきと考えるが、移住者に向けた情報の提供についてお伺いします。

裕町長 指摘のようにHP

や様々なサイトに町として色々な方に見てもらい、選んでいただけるような対応を早急に担当課に指示をし、他町村の取組みを参考にしたい。

竹内議員 都市と地方、農

村、漁村の交流や滞在も含め、地方の移住・定住が町おこしの大きな施策になると考えます。今回移住体験事業、道と道内市町村が取り組む、「ちよつと暮らし」のことですが管内でも紋別、遠軽、滝上、雄武等が行っており、空きの出た町営住宅や教職員住宅を利用して

レワーク利用も想定し、トレーラーハウスを設置しましたが、まずは空き教員住宅や沙留のコテージを含め色々な方法があると思うので検討してはどうか。

裕町長 地域を知って頂

く事は大きな効果があると思いい観光協会とも、次のステップとしてその事も視野に入れまちづくり推進課とともに考え、関係機関と協力し、ある物に付加価値を高める取り組みをしていきます。

竹内議員 令和2年第2回

定例会で紋別空港に関する質問をし、飛行機の補助も2親等までと成りましたが町民へは雄武や西興部のように片道1万円となると大きな移住や道外からの定住促進になると思います。現在では飛行機出社を認める大企業があったり、ドット道東の求人情報事業や移住者への金利優遇など道内市町村には追い風と考え移住促進に後れをとることの無いように進めて下さい。

問

興部町定住促進住宅建設支援条例
並びに興部町雇用者住宅建設支援
条例について 竹内 清議員

答

建設課、産業振興課共々
検討していく 裕 一寿町長

竹内議員

現在、両条例とも町内建築業者施工で限度額200万円です。一方、興部町民間賃貸住宅建設支援事業では、建設工事費の2分の1で1戸当たり500万円を限度とするとなっており、現在沙留中学校跡地で8戸の賃貸住宅が建設

裕町長

最大で200万円の従業員住宅等の補助に魅力を感じ誘致を検討する企業が現れるでしょうか。興部町雇用者住宅建設支援条例この限度額撤廃、もしくは引き上げは絶対行われるべきと考えます。

竹内議員

5人以下と想定していましたが雪印メグミルクの興部住宅もかなり老朽化しており、今後こういう問題が発生してくると想定もできるので産業振興課共々検討していきます。

いはあまりにも大きすぎませんか。現状では町内建築業者に賃貸住宅を建ててもらい、そこに従業員を住ませると企業は自ら建設しなくて済みます。今後、バ

イオ関連やギ酸製造等企业誘致があると思いますが、

裕町長

建設課にはこれについてきちんと整理するよう指示をし、JVであれば元請けと同じ考え方でいいのではと考えているので建設課の方で理論上も含め整理し、対応していきます。

竹内議員

私は町が大きな老人ホーム、町民の皆様が1軒1軒、一人一人暮らしているが、行政と若い人がしつかりと見守り興部町は町自体が優しい老人ホーム、一生安心して暮らせる街だとなると転出も減り、定住者も増えてくると思っています。改めて「ちょっと暮らし」と両条例の改正をお願いします。

問

補聴器の購入助成について 藤渡 昭博議員

答

前向きに考えていきたい 裕 一寿町長



藤渡議員

補聴器の購入助成についてお伺いします。

聞こえの改善で、だんだん狭くなってきた趣味や活動の幅も広がってきます。自分の周囲の状況を把握することができ、危険を未然に回避することができます。

子どもにとっても難聴は大きな問題です。音として聞こえていても言葉として明瞭に聞こえないため、そのままにしておくと言葉の遅れや発音の誤りなど言語の習得、発達に支障をきたすと言われています。成長や生活の妨げにもなってしまう。早期に補聴器を装着することで言語発達やコミュニケーション能力を高めることができます。若年の保護者にとって補聴器は決して安価ではなく、経済的負担は大変大きいものがあります。補聴器の価格

聞こえの改善で、だんだん狭くなってきた趣味や活動の幅も広がってきます。自分の周囲の状況を把握することができ、危険を未然に回避することができます。

は形状や機能によつて違い
3万円から50万円と幅があ
ります。両耳が70デシベル
以上の聴力であれば国の支
援が受けられますが、70デ
シベル未満では国の支援は
受けられません。70デシベ
ル未満の軽度、中等度難聴
者の補聴器購入に助成をす
べきと考えます。

裕町長

高齢になられて
体は元気でも耳の聞こえが悪
くなつてきている方が多くな
り、買い物など外に出たがら
なくなる高齢者が増えている
ことは事実だと思います。特
に、コロナ禍でマスクをして
買い物に行つてもビニールだ
とかプラスチック防護板があ
り、なかなか会話が聞こえな
い自分の言葉も伝わらないと
いうことでだんだん行きたく
なくなる。このコロナ3年間
は大変なことで我々が思つて
いる以上に、ご家庭で悩んだ
り落ち込んだりしている方が
増えていると思います。家か
ら出ないようになり足の筋力
が衰えて骨折をして寝たきり
になつてしまつたり、あるい

はずつと人と会話をしていな
いものですから認知症になる
というような話が保健活動の
中から聞こえてきます。今、
補聴器の世界も進歩しており
AIの発達でほとんど環境音
が入らない補聴器など色々開
発されているようです。自宅
で暮らせることが一番です。
なるべく健康寿命を延ばすた
めに耳と歯の治療は非常に重
要です。保健活動としても注
目していかなければならない
と考えています。

藤渡議員

最新の補聴器は
単に入つてきた音を大きくす
るということだけでなく、入
つてきた音を細かく分析して
更に加工して聞きやすくする
という機能を持っています。
人との会話、電話やインター
ホンの音、外出先での車やバ
イクの音など聞こえないと困
るような音を大きくして耳に
届けてくれます。騒音や衝撃
音などの音を大きく聞こえな
いようにする役目を果たして
くれます。
日本は欧米諸国と比較
し、難聴者の補聴器使用率

はかなり低いものとなつて
います。補聴器を嫌がる理
由はそれぞれですが「まだ
大丈夫」「恥ずかしい」「お
金がかかる」の三つが主で
す。そのお金がかかる部分
を町で支援できないかとい
うことです。ここにきて自
治体の支援も広がりを見せて
ています。支援の金額、対
象年齢は自治体によつて
様々です。オホーツク管内
では北見市、美幌町、遠軽
町などがすでに取り組んで
いて全道的、全国的にも多
くの自治体で取り組まれて
います。いずれにしてもこ
れは補聴器購入助成によ
り、聴力の低下で日常生活
に支障がある高齢者の生活
支援や社会参加の促進など
を図ることや、難聴児の健
全な発育、発達を支援する
ことを目的としています。

町民の生活の質を維持
し、住み慣れた町で家族と
ともに自分らしく一日でも
長く暮らしてもらうために
も、補聴器の購入助成は取
り組まなければならない課

題だと思ひます。

裕町長

道内、近隣でも
最近、補聴器の購入支援を
している町が多いようです。
当然、補聴器の活用は重要
だと思います。補聴器の場
合フィッティングと言つて、
その機能の調整があります。
高齢者の難聴の場合は突発

性難聴と違つてじわりとき
ます。そういうことを我々
も勉強不足ですし高齢者の
皆さんにも学んでいただい
て、良い補聴器を町がお勧
めするようなことも含めて、
この制度について少し勉強
させていただいて前向きに
考えていきたいと思ひます。

問

次期町長選挙への裕町長の決意に
ついて

藤渡 昭博 議員

答

「急がず、慌てず、そして怠らず」
の精神で興部町の発展に取り組んで
いきたい

裕 一寿 町長

藤渡議員

次期町長選に向
けた裕町長の決意について
お聞きします。未だ終息の
見えないコロナ禍、昨年2
月から始まったロシアのウ
クライナ侵攻などにより、
食料品や原油、資材の高騰
と日本を取り巻く状況は極
めて厳しく、興部町に於い
ても認定こども園の建設延
期や町民の生活にも大きな

影響を与えています。その
ような中、裕町長は五期20
年にわたり町のかじ取りを
担つてこられました。この
間培つてきた経験や実績、
そして発信力と行動力を次
の六期目に生かしていただ
きたいと思ひます。

裕町長

これまで多くの
皆様にご支持を頂き、また、
議会や職員の皆さんに協力

を頂き、何とかコロナ禍の中五期目の町長職を務めることができましたことにお礼を申し上げます。有難うございます。11月末に後援会の会合がありまして再度出馬せよとの要請を受け、再度出馬について決意させていただきました。コロナによる経済環境の悪化、酪農の生乳減産計画、さらに深刻化する担い手不足の問題等々、大変難しい環境下にさらされた中で町のかじ取りを行わなければなりません。先送りした認定ごども園の整備、高齢者などの住まいと暮らしの整備、バイオガス事業とゼロカーボンの推進など多くの懸案に取り組まなければなりません。私の好きな日高晤郎さんの言葉で「急がず、慌てず、そして怠らず」の精神で興部町の発展に取り組んでいきたいと考えています。町民の皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。出馬の表明とさせていただきます。

問 公営塾の導入について

桑辺博教議員

答 本年度、1月中旬に開設し令和5年度より本格運営を予定している

畑山研二教育長



桑辺議員

現在興部高等学校への支援として、入学時支援金補助、通学費補助、大学進学対策費補助、大学入学一時金補助、部活動費補助、修学旅行費補助、タブレット購入費補助などに保護者負担軽減の支援を講じており、内容については近隣市町村と比較しても大きな違いがなく、差別化を図り、魅力ある高校を目指すし将来的には入学者増につながる事を期待して、公営塾の導入を決めたとしています。

公営塾の目的は地域の教育の魅力化であり、学力向上、進学実績向上、地元高校への進学率アップ、地域への愛着形成とあるが、地元高校への進学率アップ、地域への愛着形成はどのような内容で進めていこうと考えているのでしょうか。また来年度本格稼働に向けて準備を進めていると思うが、年内にプレオープン、仮運営となつているが現在までの進捗状況とこれから本格稼働に向けてのスケジュールを伺いたい。

公営塾の運営については、本年度1月中旬に高校内で行った学校説明会で、それぞれ教育委員会の方が出席をして説明をしたと伺っています。今後はどのような形で生徒または町民に周知していこうと考えているのか。

畑山教育長

現在20名以下の入学者が3年連続している興部高校は、地域連携特例校としての指定を受けて募集停止の措置が保留されている状況にあります。

公営塾は、受験対象の生徒が興部高校を選択されるよう近隣市町村と支援策の差別化のひとつとして、生徒の進学・就職への支援、それから地域学習などを行い教育環境の充実をサポートし魅力ある高校として将来的な入学者増に繋げていければと考えて開設するものです。

公営塾の運営については、本年度1月中旬に高校内



公営塾開塾式 (1月19日)

に開設し、令和5年度より本格運営を予定しています。

塾の講師について当初、地域協力隊を3名予定しておりましたが、全国的に人手が不足していることもあり10月1日付、12月1日付で2名が正式に講師として着任しています。着任後、教育の補佐・クラブ活動の補佐などは学校内で行っており本来公営塾が行う授業の補習・学習支援などは、これから行っていく予定です。地元の進学率アップについては、高校の生徒に対し

て進学や就職を支援することにより高校の付加価値を高め、さらに地元中学生と公営塾が連携し中学生にとって高校をより身近なものにしていく事が高校の魅力化につながり地元からの進学率アップになると考えています。

地元への愛着形成は地域探求授業などで公営塾スタッフが直接かかわり町と連携図り産業などに触れる機会を多く提供して地域の文化やふるさと、また興部町を新たに知ることに由来、町外から戻ってくる子どもたちを育てたいと考えている。

公営塾の広報は2名の講師が着任してから高校内で活動しており通常授業のT T（ティームティーチング）、クラブ活動への補助の中で教員間との連携を図り、少しずつですが在校生も塾を利用しているので高校内での周知は済んでいます。

対外的には塾の講師が着

任してからと考えていたのですが、本年度卒業見込みの中学生や保護者の方々に体験入学や体験学習の中で、その都度説明しています。今後は1月の開設を機に広く町の広報誌や新聞、HP（ホームページ）なども含めて塾講師の紹介、業務内容を町民に周知して行きます。

桑辺議員

スケジュールについては、年内のプレオープン、仮運営が厳しく1月になると言うことですが、スケジュールが押しているので本当に本格稼働が4月にできるか今一度コミットしていただきたい。

PRについては、紙媒体を使うとかアナログ的なことを言っているが、今の時代HPを作るのはマストです。その中で体験動画などを掲載して発信するとか、SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を利用して発信することが必要ではないでしょうか。

畑山教育長

仮オープンに

で行う予定でしたが人材不足もあり現在の2名で1月に塾を開設し、興部高校、興部町、公営塾と連携を図り生徒にとって良い塾の運営方法を考え4月1日に本格稼働を目指します。

広報関係のHPで今考えているのは、高校のHPからSNSなどを発信したいと思っている。教育委員会の町のHPもそうですが町の中ではなく外向きにわかるよう周知してゆきたいと考えている。

桑辺議員

HPの件ですが、私が言っているのは、高校のHPや教育委員会のHPを利用することを言っているのではなく公営塾単独でHPを作成しSNSを使って発信することを言っているのです。白糠町の公営塾は単独でHPを作成しています。

本町の公営塾も単独でHPを作成し、広く道内外の生徒や保護者に発信していく必要があると思います。

HPを作成するにも費用

が掛かりますので、それも含めて考えていただきました。

畑山教育長

白糠町や枝幸町、大空町の公営塾も単独のHPで発信をしています。

す。本町の公営塾も考えているが、講師が着任したばかりなので今後、高校・講師を交えてどういう形の発信が良いかを検討して行きたい。

問 中学校部活動の地域移行について 鈴木精一議員

答 今後協議会を立上げ、周辺町村との連携も想定した中で進めたい 畑山研二教育長



ですが、準備状況や今後の対応について聞きたい。

畑山教育長 本年、スポーツ庁及び文化庁からそれぞれ運動部活動と文化活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、改革の方向性が示されている。

北海道では推進計画を定めることとしており、現在その素案が示され、各市町村などに意見聴取の場が設けられている。

鈴木議員

学校における働き方改革を踏まえ、来年度から休日等の部活動を学校単位から地域単位へ令和7年度までの3年間を目標に段階的移行するということ



の問題も出てくる。様々なことが想定され、令和5年度の早いうちにスポーツ協会、学校、保護者や地域の関係団体を交えた中で教育委員会が主体となり協議会を立上げ、周辺の町村との連携も想定した中で進めたい。

現状は、地域の実情から地域クラブなどの受け皿をつくることも、受け皿ができたとしても指導する人材の確保も容易でない。土日に大会があれば結局教員が従事することになるだろう。指導の一貫性や指導者が変わることで等の指摘があり、この改革を小さな町村で実行するのは多くの問題がある。

※その後政府は、部活動の地域移行に関し、地域によつては指導者や施設の確保が難しい等の指摘を受け、来年度は調査・研究を行い課題の整理を進めることとし、先延ばしする方針を示した。

また、休日のグラウンドや体育館等の使用料に係る保護者の負担、少年団活動等指導する方はたくさんいるが、地域クラブに移行した時のその方達との整合性の問題もある。指導者不足となれば、教員の兼職兼業



問

空き家対策について「解体・除却補助制度」で所有者自らの除却を!!

前田義雄議員

答

「処理」するようきちつと警告で!!

碓 一寿町長



前田議員

紋別市では「空き家除却補助金」の利用が

本年既に28件と大幅に増えているという。現在は危険建物ではないが、商店街を中心に住民不在のやや大きめの「空き家」店舗付き住宅が今後増えていくと思うが「除却補助制度」を作つて、少しでも早めに所有者自身による処理を促す考えはないか。滝上、西興部等々でももっていると思うが。「空き家バンク」への加入登録を進める案内を課税

除却補助制度を検討する考えはないか。

碓町長

特に国道沿いの「空き家、空店舗」については後継者問題等と絡み、今後ますます増加すると考えられる。

通知と同封し送付しているというが、併せて補助制度を作り制度の案内、更には「放置建物は相続権を放棄しても、問題が起こったら管理責任は問われますよ。」というくらいの文章を同封し、自分達で処理する意識を持つてもらうためにも、

除却補助事業については国が全部面倒見てくれるのではなく、同等額を町が負担しなければならぬ。個人の財産を町が税金を使って処理する事なので町民の同意がいる訳ですので、まず「処理してください」ときちつと警告していきたい。

問

町の施設の処理は、特に旧病院は?

前田義雄議員

答

旧病院は2億〜3億位かかる!!

碓 一寿町長

前田議員

29年に作成した

「公共施設等総合管理計画」によると、維持するもの、更新するもの、撤去するもの

の等々に要する費用見積りでも405億という莫大な金額になる。町の施設で事実上用途廃止等になってい



旧国保病院

るもの、各小学校、風車等はどう処理される考えか、特に旧病院は「アスベスト」を使っているという事で「危険な建物」として処理しなければならないと思うが。

裕町長 風車については、解体に数千万かかるが、教育的モニュメントとして残す。

宇津・秋里・豊野・富丘の各小学校については、使用用途がないという段階で処分も考えていかなければ。教員住宅については、農業者担い手の住宅で活用中。

旧病院については医療系廃棄物扱いとなるので、2

億数千万から3億かかる。アスベストは内部に使っているので、外面ではない。今のところ危険な建物ではない。

ない。本当に何かに使えれば、いいのですが転用も難しい。

問

米田御殿の有効利用は

前田 義雄 議員

答

「地域おこし協力隊」等募集して

畑山 研二 教育長

前田議員 米田御殿、特に「住居」部分の有効活用は何か検討されているか。住居部分は「住宅」として十分利用できるのではないかと。放つて置くと「傷む」のも早いのでは。

畑山教育長

居住する部分

については問題なく利用可能と思う。ただ、来館者の対応、庭園などを観に来る方もいるので職員住宅や一般の方の居住利用は難しいのではないかと。そこで住宅に居住し、御殿の管理、併せて郷土資料館の整理、埋蔵文化財の豊野遺跡等々の



米田御殿

管理・整理を担ってもらえばと考え、そのような作業に従事した方や興味のある方、従事している方、地域おこし協力隊の方など募集して、対応していきたい。

主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は3月です○

会期：3月7日(火)～17日(金) (予定)

一般質問：3月13日(月) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を15席に制限しております。通常時の傍聴席は、28席です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方はご遠慮ください。傍聴時には、手指の消毒・咳エチケット（マスク着用など）にご協力をお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135

令和4年度興部町一般会計補正予算(第5号)

補正額は、3億5千587万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ54億9千37万3千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

- ふるさと応援寄附事業 1億3千436万円増
- 技能実習生等研修宿泊施設整備事業 1億円増
- 基金運営事業 6千898万3千円増
- 農業担い手環境整備事業 2千870万円増
- 障害者自立支援給付事業 724万円増
- 財産管理費集中管理 500万円増
- 一般管理費集中管理 400万円増
- 道知事・道議会議員選挙執行経費 366万円増
- 福祉保健総合センター運営管理事業

315万円増
○小学校管理費一般経費 268万円増

○職員人件費 608万円減

○公私連携幼児保連携型認定こども園施設整備事業 509万円減

○興部町営牧野管理事業 501万円減

特別会計等補正予算

特別会計等6会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和4年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)
補正額は、437万円を追加し、総額6億1千626万円とした。

補正内容は、高額療養費の増による給付費の増額等。

②令和4年度興部町介護保険事業特別会計補正予算 (第2号)
補正額は、10万円を追加し、総額3億6千126万円とした。

補正内容は、介護予防福祉用具購入者の増による給付費の増額等。

③令和4年度興部町介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)
補正額は、148万円を追加し、総額5千149万円とした。

補正内容は、施設利用者増による介護職員の勤務時間数の増加による報酬の増額、会計年度任用職員の給料表改定に伴う給料及び期末手当の増額等、燃油高騰による施設燃料費等の増額。

補正内容は、介護予防福祉用具購入者の増による給付費の増額等。

④令和4年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算 (第4号)
補正額は、288万円を追加し、総額2億7千626万円とした。

補正内容は、職員の異動等による人件費の減額、電気料金の値上りによる光熱水費の増額、配水及び給水管の漏水等による修繕料の増額、新築物件の増に伴う水量器購入経費の増額、完了した各種工事請負費及び委託料の入札等執行残による減額。

⑤令和4年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算 (第4号)
補正額は、補正前と同額で、総額3億8千373万円とした。

補正内容は、人事院勧告に基づく一般職給及び支給率改定に伴う勤勉手当の増額並びに令和3年度人事院勧告による期末手当引下げ相当額の調整に伴う期末手当の減額。

⑥令和4年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算 (第2号)
補正額は、収益的支出の病院事業費用を275万円増額し、支出総額8億569万円とした。

補正内容は、職員の異動並びに給与改定に伴う給料の減額及び勤勉手当等の増額、会計年度任用職員の給料表改定に伴う給料の増額、医療用抗原検査キット

の追加購入による診療材料費の増額、燃油高騰による施設燃料費等の増額。

○職員等の定年等に関する条例の一部を改正する条例

○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

制定・改正された条例

○職員等の定年等に関する条例の一部を改正する条例

○地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

○興部町議会議員及び興部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

○興部町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定

その他議決された案件

指定管理者の指定について1案件が提出され、原案どおり可決した。

○興部町福祉保健総合センターのうち老人デイサービスセンター及び高齢者生活支援ハウス部門の指定管理者の指定

臨時会報告

令和4年
第3回町議会臨時会

11月24日(木)に開会され、議案4件が審議されました。

行政報告

「新型コロナウイルス感染症について」

全国での一日のコロナ感染者数が10万人を超える日もあり、全国的に感染拡大が続いていることから第8波に入ったと言っても過言ではありません。

特に北海道の感染者が多く、11月15日に初めて1万人を超えるなど、人口10万人当たりで1千人を超えているのは唯一北海道だけで、全体の約1割を占める状況が続いています。

また、オホーツク管内も例外ではなく、日々500

人前後の方々が感染しているのが現状です。

毎週火曜日に発表されます市町村別の1週間の感染者数では、興部町は3名以下の発表が続いています。これは9月26日から全数届出が65歳以上の者、入院を要する者などに限定されたことによるものであり、決して町内感染者が少ないわけではありません。町民の皆様におかれましては、これから冬に向かって季節性インフルエンザの同時流行も懸念されますので、ワクチン接種とともに引き続き感染予防対策の徹底をお願いします。

一般会計補正予算

○令和4年度興部町一般会計補正予算

(第4号)

補正額は、7千940万円を追加し、歳入歳出

それぞれ51億3千450万円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

- 農業総務費一般経費 3千250万円増
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付事業 2千624万円増
- 燃油価格高騰生活支援事業 1千38万円増
- マイナンバーカード普及促進事業 744万円増
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 200万円増

改正された条例

- ①町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ②特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ③興部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

興部町議会ホームページのご案内



興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。

議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



道内行政視察報告

厚真町

再生エネルギーの有効活用について

道内行政視察10月3日（5日の初日に厚真町を訪れた。平成30年北海道胆振東部地震で大きな被害を受けた町であり、所々に痛々しい被害の跡が見て取れた。

厚真町は、令和4年3月末で人口4千382人。産業は米作を基幹に、苦小牧



東部港建設、火力発電所の立地など工業基地開発や企業の進出により、各産業が均衡のとれた発展をすることで田園都市化を進めている。

地震による被災を経験し、特にブラックアウト時の公共施設における非常時電源の確保と被災木の活用及び非常時対応のコストを産業創出に転換することが重要な課題となった。これにより、国のエネルギー地産地消モデル支援事業に採択されたことで、令和3年～5年までの3年間で計画期間として厚真町「地産地防」エネルギー6次産業化プロジェクト事業として現在事業展開中である。

小型木質バイオマス発電

設備を導入して、廃熱利用によりストロベリーパークでイチゴ栽培を行う等の新産業創出を進める。



小型木質バイオマス発電設備

また、防災拠点や避難所に太陽光発電・蓄電池を整備し、非常時に電気を供給、避難所にもなるストロベリーパークに整備したバイオマス発電所から熱電供給を行うことを想定している。

現在当町においても、エネルギーの地産地消を基本としたカーボンニュートラル循環型酪農システム構築に向け「バイオガスからメタノール・ギ酸を製造する光化学プラントの実用化に向けた開発」を大阪大学等との4者連携により共同実施している。

日本は2030年度において温室効果ガス46%削減（2013年度比）を表明。地球温暖化への対応は待った無しであり、昨年末の停電では住民生活に大きな影響があったが、バイオメタノールの災害時利用等も検討しながら、厚真町の

ように一年でも早いシステムの実用化が望まれる。

（記：産業建設常任委員会
委員 鈴木 精一）



太陽光発電設備



急速充電設備

江別市 生涯活躍のまち 「ココルクえべつ」

10月3日～5日で総務社会・産業建設常任委員会合同道内行政視察を行いました。

総務社会常任委員会は江別市にある生涯活躍のまち「ココルクえべつ」を視察しました。

生涯活躍まち構想とは、地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアク



ティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指すことです。

「ココルクえべつ」は

①江別市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。

②若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現する。

③地域の特色ある社会資源「4大学（酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学）、地元産業、商店街など」を活用する。

といった江別版生涯活躍のまち構想をもとに旧札幌盲学校跡地に建てられた施設です。



特別養護老人ホーム

敷地内には特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、サービス付き高齢者向け住宅、看護小規模多機能型居宅介護事業所といった高齢者関係の施設と障がい者グループホームと企業主導型保育所があります。

あわせて、パン工房、レストランといった飲食店に加え天然温泉施設、トラファグ養殖場、パークゴルフ場も併設しています。

特別養護老人ホームは全室個室の80床あり在宅での生活が困難となった中重度の高齢者の方に一人ひとりの状況に応じて、日常生活



パン工房

や健康管理・療養上の世話、機能訓練等を行いながら、自立した生活が送れるよう支援しています。

介護老人保健施設は全室個室の80床あり病院退院後、在宅でのスムーズな生活が送れるよう、必要なりハビリテーションを行うとともに、在宅復帰時の適切なケアプランを作成しています。

サービス付き高齢者向け住宅は全50室あり入居を検討されている方の声を伺いながら、それぞれの希望に沿った部屋、住環境を提供しています。



ココルクえべつ外観

看護小規模多機能型居宅介護事業所は登録定員29名（通い18名、宿泊9名）であり病院を退院した医療ニーズの高い方に対して、常駐する看護師の医療ケアのもと、訪問・宿泊を利用しながら、必要な医療サービスを提供しています。

障がい者グループホームは定員男女各10名であり、障がいのある方が必要な支援を受けながら地元で働き、共同生活を送っています。

企業主導型保育所は定員30名であり施設内で働く方



送迎車両



レストラン

の子供の保育を行うとともに定員のうち14名までを地域の方が利用出来るようにして待機児童の解消に貢献しています。

パン工房、レストラン、といった飲食店や天然温泉施設は就労継続支援A型事業所で「職員は表に出ず、目立たず、支える

側」をモットーにレストランではうどん打ち、パン工房ではパンを作り焼く、温泉施設では受付・清掃等の就労機会を提供し、障がいのある方が賃金を得ながら自立した生活を送れるよう支援しています。

また、敷地内や施設内の一部を利用して多世代交流

サロン「COCO カフェ」重度肢体不自由児者・医療的ケア児交流サロン「つながるカフェ any」親子であそべるひろば「あさのわひろば」多世代交流サロン「あそび会」キッチンカフェスなどを月に数回開催して地域住民との交

流を行っています。興部町も高齢者や障がい者に対して時代やニーズに合ったサービスが出来るように検討して行かなければならないと感じました。

（記：総務社会常任委員会
委員 桑辺 博教）



所管事務調査報告

総務社会常任委員会

第2期子ども・子育て支援事業計画について

去る9月28日、令和2年度から6年度までの「興部町子ども・子育て支援事業計画」について調査をしました。本計画は、平成27年度から平成31年度までの第1期事業計画を引き継ぎ、これを発展させるために策定したものです。

策定から2年を過ぎた事、及び令和6年10月開園予定の「認定こども園」が当初事業費13億6千7百万円であったのが、この間の資材高騰等により3億6千9百万円増の17億3千6百万円と見込まれる等の為2年間先送りし、令和8年10月の開園となった事等を考慮し、子ども・子育て支援事業の進む状況について担当課より説明を受けました。

【主な質疑内容について】

Q 保護者の就労形態の変化により、保育時間の延長、三歳以下の定員の拡充等要望、対策については。



A 今の保育所のスタッフの人数では大規模な延長は難しいが、今後とも検討していきたい。

Q アンケートの中で「興部町が子育てしやすいまちだと思えますか」という問いに前回の40%から、55%程に増えているが何故か。

A 子ども・子育て支援料等の負担が小さくなった事なども考えられる。

Q 延長保育について、うちより長い時間やっている所があるが、延長ニーズがある時は交代制でも応えるべきではないか。

A 今の人数では難しいが、人数を揃えながら、かつ職員の組合せを考え、ニーズに応えられる体制を作っていきたい。

Q 出産後の乳児家庭訪問、養育支援訪問とあるが、「産後うつ」の方の増や、核家族化で相談相手がいない等の家庭も多いが。

A 産後、退院前の状況を産婦人科の先生にチェックをしてもらい、そのスコアを保健師に。広域病院の「産後デイケア」に委託し受けられるように進めている。

進めることを考え、素案を作る。

Q 子どもの居場所は？

A 図書館二階に子育てサークル「おこびよ」。トドックでも、集える場を設けているとのこと。児童館というニーズもあるので検討していきたい。

Q 興部町の保育料は「高い」とか、長期休んだ時「日割りにして欲しい」という声があるが。

A 子ども・子育て支援法が施行されてからは高額な保育料になっていないし、日割り計算、所得の低い方は、免除、全額免除、無償化も進んでおり保育所、幼稚園も無償となり、以前より低く押さえられていると思う。

(記)総務社会常任委員会
委員長 前田 義雄

所管事務調査報告

総務社会常任委員会

興部町高齢者生活支援施設等基本構想について



総務社会常任委員会は10月27日介護支援課大石課長、鎌田地域包括支援センター長、笹岡係長により興部町高齢者生活支援施設等基本構想について説明がありました。

町は興部町保健福祉計画、第8期介護保険事業計画、令和3年～5年中に興部町高齢者福祉施設計画を作成し、第9期介護保険事業計画で建設を予定するとなっております。

令和2年町内で地域アンケートを実施しております。アンケート中で福祉施設

設に関する要望が多く、自宅生活が困難時の受皿が興部町内に無い不安が多く寄せられ、入所施設建設希望者が多くありました。

今回興部町が進めている基本構想は町内の人口減少、核家族化等により高齢夫婦、独居世帯が増加しており要介護認定者も増加となっております。

町内に存在する入所施設は高齢者生活支援ハウスと高齢者下宿の2か所であり介護を多く必要としない自立者支援施設であります。が、平成15年町内に要介護者の入所施設が無いため、高齢者生活支援ハウス20床を要介護軽度者の受入施設となりました。要介護度が重度となり受入介護施設を採すことが、大変な状況となっております。

興部町高齢者生活支援施設等基本構想で計画検討しておりますのは、小規模多機能型居宅介護であります。在宅生活の支援であり24時間365日自宅での安

心の提供で訪問介護、訪問看護等、通所介護（デイサービス）、宿泊（ショートステイ）等の介護の充実です。

小規模多機能型居宅介護事業は基本的には29名以内の登録制で包括料金制となり、登録者は毎月介護度により定額負担となります。登録されていない町民も利用は認められることとなります。また、高齢者入所施設としてはサービステキ高齢者住宅、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、老人ホーム、認知症対応グループホーム等が考えられますが決定しておりません。検討中です。

小規模多機能型居宅介護事業の充実、高齢者福祉施設建設運営においても多くの介護職員を必要とします。町内におります職員は今後も働いていただきたいと考えますが、近年各自治体においても大変苦勞しております。外国の方を言葉の教育をし、職員として採

用されている所もあります。が、今後は興部町が介護職を志す人を高校卒業後の大学、専門学校へ入学時より支援し、卒業後は町の施設等で就労していただくよう考えていくことが必要ではないでしょうか。

（記）総務社会常任委員会
副委員長 小泉 優子



議会の動き

令和4年11月10日以降

11月11日・議会全員協議会

13日・おこっぺ寅年会

15日・広域紋別病院企業団議事前説

明

15日・高規格道路旭川

17日・紋別自動車道早期建設促進期成

会要望活動(秋季)

21日・西紋別地区環境衛生施設組合議

会運営委員会

22日・広域紋別病院企業団議会臨時会

24日・議会運営委員会

・第3回町議会臨時会

・議会全員協議会

・議会改革特別委員会

12月2日・議会運営委員会

8日・第4回町議会定例会(1日目)

・議会広報特別委員会

9日・議会運営委員会

・第4回町議会定

例会(2日目)

・議会改革特別委員会

28日・興部消防団歳末特別警戒

1月4日・興部町成人式々典

6日・興部消防団出初式

・議会運営委員会

16日・議会全員協議会

20日・議会広報特別委員会

21日・技能実習生等研修宿泊施設竣工式

23日・遠紋地区市町村議

24日・議事事務局長会

24日・初議会の進め方等に係る研修会

25日・西紋別地区環境衛生施設組合議会臨時会

27日・紋別地区消防組合議会臨時会

30日・議会運営委員会

・第1回町議会臨時会

・議会全員協議会

・議会広報特別委員会

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

11月11日、11月24日、1月16日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

11月11日

○令和4年度燃油価格高騰生活支援対策事業について

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業について

○農業経営緊急支援事業について

○マイナンバーカード普及促進事業の実施について

11月24日

○興部秋里間道路相続登記未了地整理業務の経過報告について

○町職員住宅の現状と今後の整備計画(案)について

○職員の定年延長に係る条

例改正等について

○情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について

○生活支援ハウスの次期指定管理における厨房業務の外部委託化について

○子育て世代包括支援センターの設置について

1月16日

○興部高校間口確保について

○大規模停電対応に係る経費の専決処分について

○興部町議会の個人情報保護に関する条例及び施行規則について

○興部町選挙管理委員会からの申し出について

議会運営委員会

委員長 竹内 清

11月24日、12月2日、12月9日、1月6日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

11月24日

○令和4年第3回議会臨時会の運営について

○興部町議会の個人情報の保護に関する条例について

12月2日

○令和4年第4回議会定例会の運営について

12月9日

○令和4年第4回議会定例会の運営について

1月6日

○興部町議会の個人情報の保護に関する条例及び施行規則について

○興部町選挙管理委員会からの申し出について

議会改革特別委員会

委員長 阿部 昭一

11月24日、12月9日、委員会を開催し次の事項について協議しました。

11月24日

○選挙制度について

12月9日

○選挙制度について

○議会改革に関する報告書(案)について

今回の表紙

興部中学校 バドミントン部



バドミントンは、1860〜70年代に誕生したようで、国際的流行の下地を作ったのは英国。欧州の旧植民地で普及し、特に東南アジアで人気が高く、インドネシアでは国技である。

部員は男子6名女子3名。指導は、稲葉監督、小松顧問と川谷コーチの3名体制。

部のモットーは、一人一人が目標を持ち日々努力すること、人から応援される誠実な選手となること。

全員一年生であり、新人戦後のミーティングにて、頑張り切れていない自分たちの課題に気付き、今は先輩がいない中でも目標を掲げ素直に努力を続けている。

昨年10月の中体連新人戦では、一年生ということもあり全敗。一年生で貴重な体験ができたことと敗戦の悔しさをバネに、今年は男子団体戦と個人戦の両方で全道出場が目標。

キャプテンは佐藤純也さん。入学時色々な部活動を見たが、打ち合った時の球際のプレーに惚れて入部。桃田選手に憧れていて、ヘアピンが得意。この技を磨き地区大会制覇、全道出場が今年の目標である。

ところで、世界最速の球技は、ギネス記録によると断トツ一位がバドミントンで時速493km。フットワークと瞬発力や柔軟性、そして何よ



り優れた動体視力が求められるハードなスポーツである。

部員の皆さんは、一人一人「リアクションステップを体に覚えこませる」などの具体的目標を立てています。

ラグビーの元日本代表主将のリーチ・マイケルさん曰く「やるべきことがあるのに、やっていないというのが一番のストレス。やるべきことを一つずつクリアしていけば、きつと目の前の壁は乗り越えられる。」部のモットーと同じですね。健闘を祈ります。

(記：広報特別委員会
委員長 鈴木 精二)

編集後記

令和5年の新春を迎え、町民の皆様にはご健勝にて新年を迎えられましたことに心よりお喜び申し上げます。

昨年は、前年から続いている新型コロナウイルスの感染拡大が私たちの生活に大きな影響を与えました。一方でだんだんと感染状況が好転し、コロナからの回復の兆しが見え始めたのではないのでしょうか。

今年の干支は十干と十二支を組み合わせた「癸卯」(みずのと)。「癸」(みずのと)は十干の順序で言えば最後にあたり、一つの物事が収まり次の物事への移行をしていく段階。また「卯」のうさぎは「茂」という時期であり、繁殖する、増えるという段階にあたる。その両方を備えた「癸卯」は、去年まで

で様々なことの区切りがつき、次へと向かっていく、そこに成長や増殖といった明るい世界が広がっていくといわれています。興部町もこのような1年になることを期待します。

なお、コロナ感染・インフルエンザにつきましては、今までと同様に感染予防をお願いします。

(記：広報特別委員会
委員 阿部 昭二)

- 広報委員長 鈴木 精一
- 副委員長 藤渡 昭博
- 委員 阿部 昭一
- 委員 竹内 清
- 委員 桑辺 博教
- 議会事務局長 須田 寿史
- 議会事務局主事 山根ありさ

